

きらめく夏 魔法の笑顔

いい大人人形劇フェスタ 8/1(火)・6(日) 2017 IIDA PUPPET FESTA



たくさんの“魔法の笑顔”に出会う6日間

人形劇の祭典、いい大人人形劇フェスタの季節がやってきました。日本各地、海外から多くの人形たちと、人形劇ファンがこの地に集結します。今回のテーマは「きらめく夏 魔法の笑顔」。演技手の笑顔、観客の笑顔、サポートスタッフの笑顔、そして人形たちの笑顔が、キラキラと魔法をちりばめます。さてさてどんな魔法が、お楽しみ、お楽しみ!!

特集 関東の人形劇

多種多様なスタイルで活躍する関東の人形劇

東京を中心に1都6県に及ぶ関東エリアは、江戸時代から続く伝統人形芝居から、長い歴史を持つ現代人形劇まで、専門劇団、アマチュア劇団と個性あふれる多くの劇団が様々なスタイルで活躍している。なかでも大きな特色の一つが、戦後のテレビ時代到来と共に、産声をあげた「テレビ人形劇」。全国へと波及したテレビ人形劇という新たなジャンルの担い手と文化を育んできた。また、関東各地で開催されているユニークな人形劇フェスティバルをフェスタで再現。



人形劇団ひとみ座

8/5(土) 会場 飯田市民館ホール
「ひょっこりひょうたん島 オンステージ
「泣いたトラビゲの巻」」

昭和39年から44年に放送されたテレビ人形劇。あの「ひょっこりひょうたん島」が舞台に登場。ドンガバチョ、ハカセ、ダンディ、トラビゲ...がやってくる。放送当時のセリフ、生き生きとした人形の操演で、ひょうたん島の世界が目の前に!

人形劇団ブーク

「三びきのやぎのらがらどん」
8/3(木) 会場 飯田市 公民館ホール



1929年創立の関東を代表する専門劇団ブーク。お腹をすかしたちっちゃいやぎと中ぐらのやぎと大きなやぎが力を合わせて、魔物のトロルをやっつける。光と闇の織りなす民話的な世界をお見逃しなく。

人形劇団ボボロ

「ルドルフとイッパイアッテナ」
8/2(水) 会場 飯田市 公民館ホール



子ねこのルドルフがボスねこのイッパイアッテナから野良ねこの生き方を学んで成長していく物語。斉藤洋原作の人気児童文学が、変幻自在の舞台と生演奏で、楽しさいっぱいの人形劇に。

かわせみ座

「人形師山本由也 Session 2017 in 飯田」
8/3(木)・4(金) 会場 飯田人形劇場



劇団代表の山本由也氏は、日本の伝統操演竹田人形座を経て、1982年かわせみ座を創立。氏が2013年から続けている音楽家とのコラボレーションの舞台第17弾。かわせみ座独自の人形構造と操作方法に注目。

ばびぶへ劇場

「赤ずきんちゃん 他」
8/1(火) 会場 飯田文化会館 1F展示室



2008年に「のそのそによる/セリフのない短編集」で厚生労働省推奨児童福祉文化財に認定。おしゃまな赤ずきんちゃんや、耳が遠く話のかみ合わないおばあちゃん。おなじみのストーリーが、ちょっとユニークなキャラクターでもっと楽しいお話に。

オープニングセレモニー

デフ・パペットシアター・ひとみ
「一寸法師」
8/1(火) 会場 飯田文化会館ホール



1980年、ろう者と聴者の協働で専門人形劇団として発足したデフ・パペットシアター・ひとみ。ドラと太鼓のリズムに合わせて、小さな一寸法師が鬼退治の旅へ大冒険のはじまり、はじまり。

【関東の伝統人形芝居】 選りすぐりの人形芝居を!

群馬の人形芝居、神奈川の相模人形芝居、埼玉の秩父人形、東京の糸あやつり人形や車人形などなど、関東の各地には古くから伝承されてきた多くの人形芝居があります。そんな珠玉の劇団から選りすぐりの人形芝居をお見逃しなく。



【関東の人形劇フェスティバル】

関東のユニークな
人形劇フェスティバルが飯田に出張!?

ミニミニいけいけ人形劇まつりin飯田

8/5(土) 会場 飯田市民館

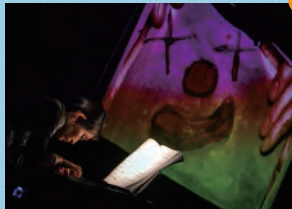
KANAGAWAパペットパーティー

8/4(金) 会場 飯田市美術博物館

海外からやってくる人形劇

この夏も、独自の表現方法と物語りの奥深さを感じさせてくれる海外の人形劇がやってきます。フェスタだからこそ出会える新たなパフォーマンスをお楽しみに。

テアトロ・インプロヴィーゾ(イタリア)
「3本の手スケルツォ」



構成/演出/出演:ダリオ・モレッティ
音楽:ペラ・バルトック(『子供のために』より)
ピアノ演奏:並河咲耶

8/2(水)・3(木) 会場 飯田人形劇場

3本の手がかける魔法...絵描きとピアノ弾きが出会ったら...? 3本の手から広がるユーモア溢れる遊びの世界。「いろ」と「おと」から生まれるお話。親子で楽しめる、小さいけれど愉快な音楽会。

永興樂皮影劇団(台湾)
「台湾の伝統影絵芝居 皮影戯(ビーインシー)」



8/2(水)~4(金)

会場 川本喜八郎人形美術館ほか

台湾高雄市の影絵芝居専門の博物館「高雄市皮影戲館」が、川本喜八郎人形美術館で「影絵楽園—台湾高雄影絵特展」を開催。同館の所蔵品、影絵人形・楽器・台本を使って、台湾の影絵文化を紹介。高雄永興樂皮影劇団のパフォーマンスもお楽しみに。

ジョルジョ・ガブリエッリ(イタリア)
「マリオネットとピアノのための
グランデコンチェルト」

8/3(木)~5(土) 会場 未定

イタリアの有名なカンタウーレ(シンガーソングライター)、パオロ・コンテは、イタリアを代表する男性歌手。しゃがれた渋い歌声で奏でる彼の世界を、ジョルジュ・ガブリエッリがマリオネットでコミカルに演じる。



シアター・リフレクション(デンマーク)
「グッバイ、ミスターマフィン」

8/3(木)・4(金)

会場 飯田文化会館 1F



むかし、ミスターマフィンが若く、強く、誇り高かったころ、キュウリを1本背中に担ぐことができた。年老いてしまった彼は、一人昔に思いを馳せる。...人形のマフィンを通して「いのち」を考える。

写真:Bo Amstrup

飯田市川本喜八郎人形美術館

開館
10周年
記念

連続人形活劇「新・三銃士」展

2009年、NHKで放送された連続人形活劇「新・三銃士」の人形と舞台セットを展示。アレクサンドル・デュマ原作の冒険物語「三銃士」を三谷幸喜が脚色を担当し、話題を呼んだ作品。

4月29日(祝土)~6月25日(日)
9:30~18:30 (入館は18:00まで)

入館料: 大人400円/小中高生200円

休館日: 水曜日(5/3は開館)

問合せ: ☎0265-23-3594

飯田市川本喜八郎人形美術館

©井上文太/NHK

